

# 福山に高周波炉導入

## 日本鑄造、24年度下期めど

日本鑄造は、2024年度下期をめどに福山製造所（広島県福山市）に10ト高周波誘導電気炉を導入する。現在は低周波誘導電気炉を2基（8ト、15ト）を設置しているが、両炉ともに稼働率が低く間欠操業が続いており、新設する高周波炉1基に集約することで連続操業に切り替え、生産性を高める。

る。鑄物砂の投入速度が高まる最新鋭のミキサーを導入することで、同地区の大型ミキサーを集約して作業効率をアップし、生産性を高める。

福山製造所は、鑄鉄水平連続鑄造棒「マイティバー」などの鑄鉄品を生産している。低周波炉2基から高周波炉1基に切り替えることで溶解能率がアップ

して溶解時間が短縮し、電気料金の低減にもつながらる。また、低周波炉の鉄源は高炉溶鉄（鉄鉄）を主体に利用していたものの、高周波炉は鉄スクラップ

が使いやすくなるため、利用促進を図っていく考え。

このほか、本社・鑄鋼工場川崎地区（川崎市川崎区白石町）は、

2024年度上期をめ

2024年度上期をめ

2024年度上期をめ